

氏名	長尾昌二
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第3761号
学位授与の日付	平成14年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Rapid and Sensitive Detection of Physical Status of Human Papillomavirus Type 16 DNA by Quantitative Real-Time PCR (定量的PCR法を用いた迅速かつ高感度な16型ヒトパピローマウイルスの存在様式の診断)
論文審査委員	教授 山田雅夫 教授 清水憲二 教授 加藤宣之

学位論文内容の要旨

子宮頸癌の発生において human papillomavirus (HPV) の存在様式は重要な因子である。HPV が宿主 DNA に取り込まれる際 E2 領域が破碎・欠失することに着目し、定量性に優れた real-time PCR 法を行って子宮頸部から得た細胞に含まれる E2 および E6 領域の copy 数を測定し HPV16 型 (HPV-16) の存在様式を診断する新たな方法を開発した。まず、HPV-16 陽性子宮頸癌 22 例の摘出物組織について本法を行い、Southern blot 法および二次元電気泳動法での結果と比較し、精度を確認した。続いて 28 例の初期病変を含む子宮頸癌関連病変の子宮膣部擦過細胞を加えて検討したところ、病変の進行とともに integration が増加することおよび CIN の段階ですでに integration がかなりの頻度で起こっていることが明らかになった。本法はきわめて少量の検体から HPV-16 の存在様式を正確に診断することが可能であり、臨床における子宮頸癌関連病変の管理、また HPV-16 感染の自然史および子宮頸癌の発癌過程の研究において非常に有用な手段の一つになると期待される。

論文審査結果の要旨

本研究は、定量的 PCR を用いた、ヒトパピローマウイルス 16 型の存在様式の迅速かつ感度のよい診断法を開発したものである。本法はヒトパピローマウイルス感染の自然史および子宮頸癌の発癌過程の研究において有用な手段となることから価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。